

被災者の生活再建のための取り組み

○生活の支援

- ・食料品、生活必需品等の支給
- ・ボランティアによる居宅の清掃、泥かき等
- ・災害廃棄物の処理
- ・住家被害認定調査の迅速な実施
- ・こころの健康相談、保健師による健康管理
- ・県税・手数料の減免
- ・義援金の迅速な配布

○児童・生徒への支援

- ・学用品の給与
- ・通学バス臨時運行
- ・スクールカウンセラー配置

被災事業者の事業再建のための取り組み

- 中小企業相談窓口の設置
- 県税・手数料の減免
- 融資制度・利子補給制度の拡大
- 製造事業者等の再建支援
- 農林業施設等の災害復旧
- 農協・漁協等共同利用施設の復旧支援
- 社会福祉施設等の復旧支援
- 被害商店等から飲料品を県職員が購入

被災地への職員派遣

◆避難者健康管理業務、市町村役場の保管業務、住家の被害認定業務など、これまで延べ約2,700人の県職員を派遣

(※10月6日現在)

主な業務内容

- 避難所支援業務
- 避難所等健康管理、健康調査業務
- 市町村役場支援業務(り災証明書発行事務等)
- 公共土木災害復旧工事支援業務
- 住家の被害認定業務
- 道路啓開、道路規制業務
- 災害廃棄物処理業務
- 瓦礫、土砂撤去等清掃業務
- 農地農業用施設災害状況把握業務
- 緊急治山事業査定書類作成業務
- 林道(市町村管理)被災状況調査業務
- 下水道施設(市町村管理)被災状況調査業務
- ボランティアセンター支援業務 等

ボランティアの受入状況

- 6市町において、災害ボランティアセンターを設置
- 主な活動は、家屋の泥かき・清掃、瓦礫撤去、荷物の運び出しなど
- 県社会福祉協議会において、災害ボランティアバスを運行

受入状況(各市町別)

(10月6日現在)

	古座川町災害 ボランティア センター	新宮市災害 ボランティア センター	那智勝浦町災害 ボランティアセ ンター	田辺市災害 ボランティア センター	日高川町災害 ボランティア センター	白浜町災害 ボランティア センター	合計
設置日	9月6日	9月6日	9月7日	9月7日	9月10日	9月7日	
人数	2,843	5,162	5,382	1,957	2,018	229	17,591

- ※1 白浜町災害ボランティアセンターについては、9月26日で閉鎖済
- ※2 古座川町災害ボランティアセンターについては、10月3日で閉鎖済
- ※3 上記数字は速報値のため、今後変更される可能性あり

救援物資の状況

衣類	2,946	枚	レーキ	50	本
毛布	3,720	枚	一輪車	50	台
おむつ	6,914	枚	防塵マスク	100	個
生理用品	1,060	枚	箸、スプーン、コップ、皿等	2,810	個
簡易トイレ（簡易式）	2,000	個	ウレタンマット	100	枚
簡易トイレ（屋外設置）	6	基	乾電池	22,900	個
日用品	9,497	個	弁当	3,630	食
救急セット	36	個	おにぎり	2,860	個
緊急セット	2,076	個	パン	26,100	個
懐中電灯・卓上ランプ	100	個	レトルト食品・即席麺・缶詰等	84,523	食
給水パック等	7,230	個	飲料水	72,399	本
カセットガスコンロ	300	台	その他飲料	90,631	本
ポータブルガス発電機	20	台	梅干し（20個入り）	400	パック
カセットボンベ	2,292	本	米	2,350	kg
平スコップ	50	本	アルファ化米・粥	29,920	食
ブルーシート	200	枚			

※1 上記数字は、和歌山県が把握している救援物資の状況（10月7日現在）

※2 救援物資の提供元は、主に企業、自治体、関西広域連合等

国への要望事項

1 一刻も早い災害復旧の実現に向けた支援

- (1) 公共土木施設等の早期復旧
- (2) 被災者の生活再建に向けた総合的支援
- (3) 地域産業の復旧・復興支援
- (4) 指定文化財等の復旧に対する支援
- (5) 地方財政措置等にかかる配慮

2 あらゆる災害に強い県土づくりの推進

- (1) 大規模災害に備えた幹線道路ネットワークの整備
- (2) 災害予防のための重点的インフラ整備